

若き防水人のための防水講座

第1回

田中 享二

東京工業大学名誉教授・工学博士

1. 講座をはじめるにあたり

私は大学で防水研究を行うと同時に、建築学科の学生さんの教育にも携わってきた。講義は「建築材料」、もちろん「防水」の話も講義に含まれている。ただカリキュラムの関係で、防水の話ができるのは年間を通して1時間が精いっぱいであった。多分これはどこの大学でも同じような状況と思う。どう工夫しても1時間程度の講義で学生さんに防水のことをすべて知ってもらえるはずはない。現役の頃はそのことにいつも、もどかしさを感じていた。

退職して1年ほどたった頃、日本の防水技術についての短期間の特別講義をしてくれないかとの申し出があった。武漢にある湖北工業大学の友人からであった。大学を離れ自由の身になっており、時間的にもゆとりがあったので、その場で快諾し、軽い気持ちで武漢に赴いた。2012年6月のことである。

行ってみて驚いた。何と教える先は「防水学科」だったのだ。正式には「湖北工業大学・土木工程与建築学院、土木工程・防水材料与工程方向」(写真1)というところで、日本のイメージでは、湖北工業University、土木建築大学、土木学部、防水学科に相当する。ちなみに防水学科の学生数は各学年50名、総数約200名であった。多分世界で防水学科をもつ唯一の大学ではないかと思う。

私の担当はわずか3コマの講義であったが、日本での講義よりは少し丁寧に説明できたと思う(写真2)。もしこれが通年だったら、もっと丁寧に教えることができたのに、と多少残念に思いながら帰国の途についたのであった。

このようなことが背景にあるので、大学で「防水学」の講義を担当したら、このようなことにもなるだろうと思いつきながら、今回の内容を組み立てた。大学での講義は、科目は指定されるが具体的内容は教員個人の裁量にまか



写真1 湖北工業大学土木建築学院(土木工程・建築学院の入り口)



写真2 授業風景

されている。だから教員個人の考え方が色濃く反映する。その流れで、この防水学もかなり個人的なものになってしまう危険性大である。ただせっかく機会をいただいたので、私なりの防水の「A to Z」を若き防水人に伝えたいと思う。